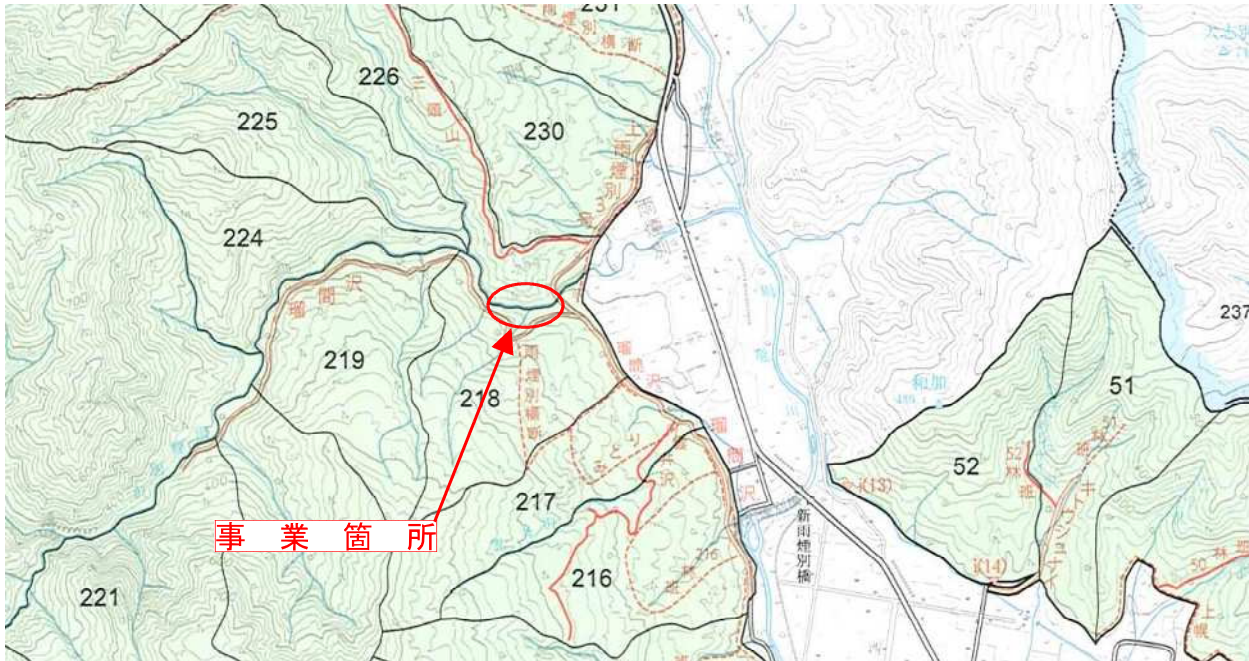
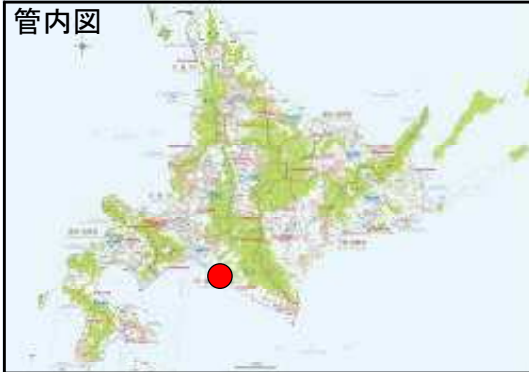


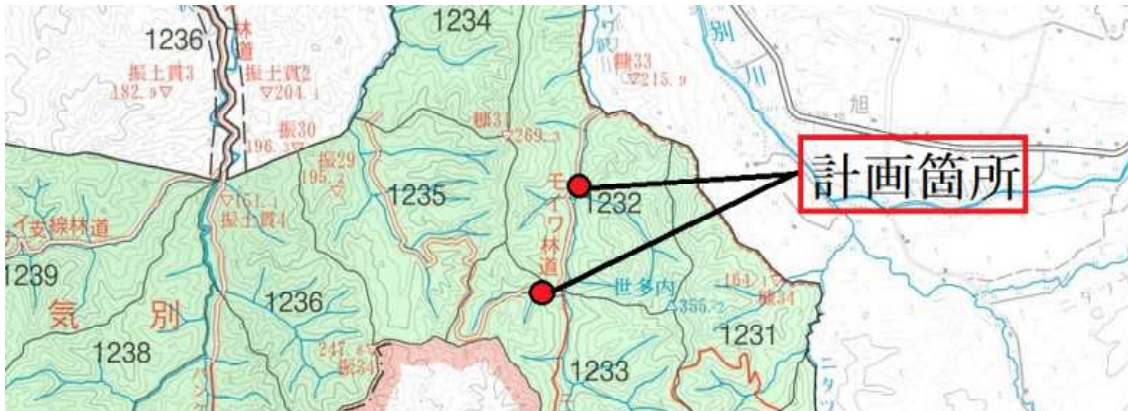
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和７年度（４年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	雨煙別川 （うえんべつがわ） （北海道）
事業 目的	当該箇所は、１級河川雨竜川上流に位置し直下には町道旭線及び下流には札幌市から道北を結ぶ国道２７５号が走っており、その周囲には農地が広がっている。 昭和３３年度に施工された堰堤工は両袖部に著しい損傷があり、右岸放水路が一部欠損している状況で、その下流の昭和３３年度施工床固工は放水路天端が崩壊し堆積土砂により埋没状態である。 上流域には転石が多く堆積し、溪流内には多数の溪岸侵食が見られ、左岸には崩壊地もあることから、このまま放置すると、今後の雪解けや降雨等により崩壊が拡大し、堆積した土砂の流出により下流の国道・町道・農地等に被害を及ぼすおそれがある。 このため、当該事業により不安定土砂の固定と土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署 北空知支署
						管内図	
主な事業内容		溪間工 ２基 護岸工					
主な保全対象		橋梁、町道、農地、人家、国道					
総事業費		135,000千円					
位置図	縮尺 １：５０，０００						

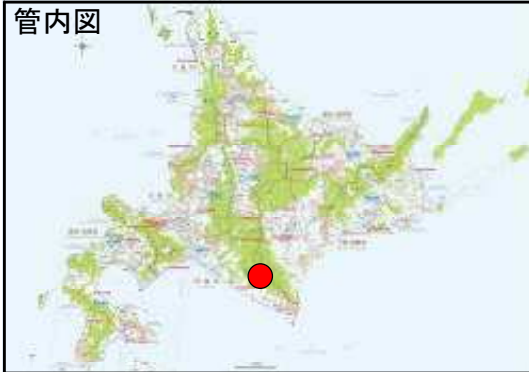
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和２年度～令和４年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		川田の沢 （かわたのさわ） （北海道）	
事業目的		当流域は沙流郡日高町字厚賀に位置する、厚別川下流域である。当計画地は、山腹崩壊危険地区であり平成28年8月23日の台風9号の影響により最大24時間雨量178mmの豪雨が発生した。そのことにより付近一帯の山地に溪岸侵食を主要因とする、土砂流出が発生。下流の国道の溝渠が閉塞する等の被害を与えた。こうしたことから、溪床を安定させ上流の溪岸侵食や土砂の流出を抑止するとともに、下流の国道の保全を図るため、溪間工を計画するものとする。 なお、事業の実行に伴い詳細調査を行った結果、事業内容及び総事業費に変更が生じた事によりB/Cの確認が必要となったため、令和元年度に行った評価について再評価を行う。						事業実施主体		北海道森林管理局 日高北部森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		溪間工 1 基									
主な保全対象		国道150m									
総事業費		108,000千円									
位置図		縮尺 1：50,000									

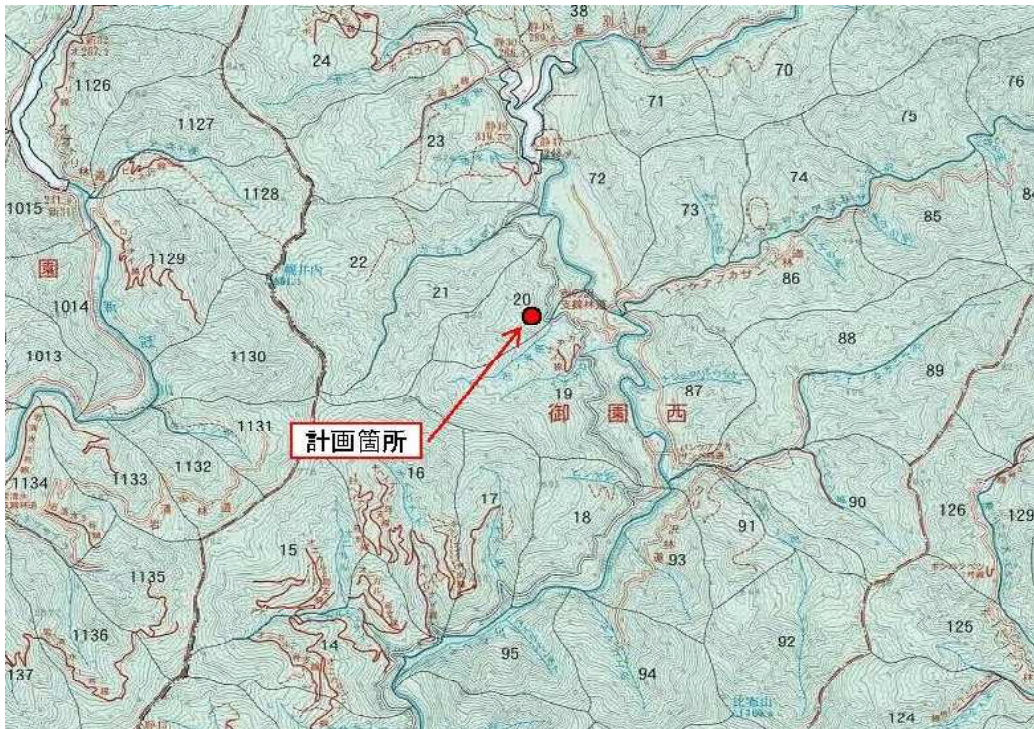
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和５年度（２年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	モイワ沢 （もいわさわ） （北海道）
事業目的	当該流域は、沙流郡平取町を流れる１級河川貫気別川の上流に位置しており、周辺の農業用水の取水原となっている。 平成28年台風10号の豪雨により上流の山腹崩壊地が拡大した影響と思われる流木と土砂の堆積を確認した。 平成30年度に全体計画を樹立し、令和元年度、令和２年度に溪間工２基を施工したが、未だ上流域には多量の不安定土砂が堆積しており、今後の大雨等により直下流の農地等に再び被害を与える恐れがあることから、当事業の実施により、上流域の安定を図り、保安林機能の向上を図るため溪間工を計画をしたものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
						管内図 	
主な事業内容		溪間工 ２基					
主な保全対象		林道50m、農業用水頭首工、水田2.80ha					
総事業費		75,000千円					
位置図	縮尺 １：５０，０００						

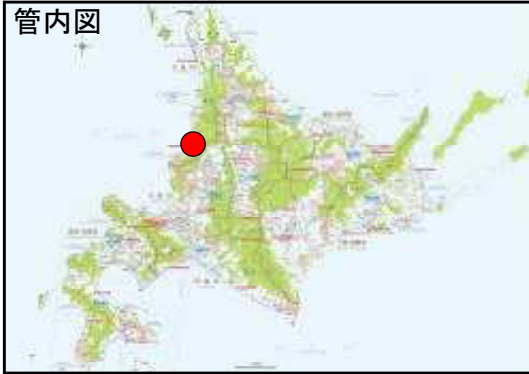
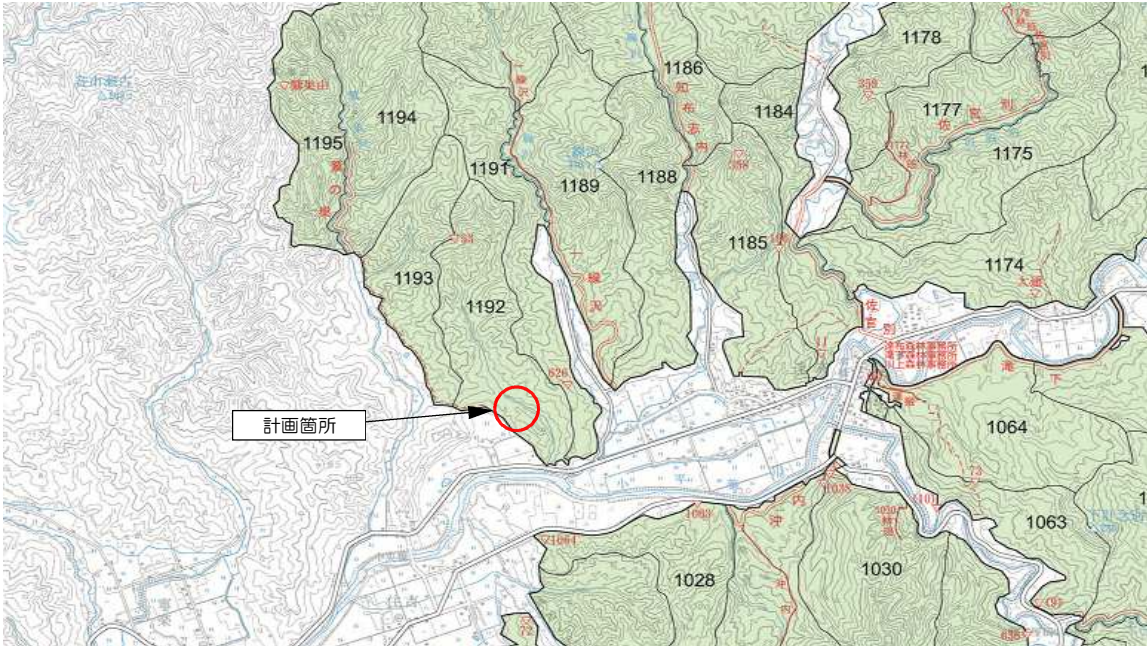
地 区 概 要 表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和７年度（４年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	ポナイ沢 （ぽんないさわ） （北海道）
事業目的	当該箇所は、日高郡新ひだか町のシュンベツ川の上流に位置し、当該下流域には町道が存在している。 令和3年度の大雨により山腹崩壊が発生し、流下した土砂により町道の暗渠呑口が閉塞したため、町道に被害が発生している。 溪床内にはいまだ不安定土砂が堆積しており、このまま放置した場合、山腹崩壊等の拡大及び不安定土砂等の流出により、町道にさらなる被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流町道の保全を図るため当該事業を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
					管内図 	
主な事業内容	溪間工 1基 山腹工 0.18ha					
主な保全対象	町道 200m					
総事業費	70,000千円					
位置図	縮尺 1：50,000					

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和３年度～令和５年度（３年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	班界の沢 （はんかいのさわ） （北海道）
事業 目的	当該箇所は、日高郡新ひだか町のシュンベツ川の上流に位置し、当該下流域には町道が存在している。 平成１３年度に施工した既設土留工に傾倒が確認され、現状も少しずつ前方方向への傾倒が進んでいる状況で、山腹斜面が不安定な状態となっており、今後の降雨により下流域への被害が拡大する恐れがある。 このため、土留工等の改良のほか山腹工を実施することで、斜面の安定化を図り土砂災害の防止に資するべく本事業を計画したものである。 この箇所は令和２年度に事業評価を行っていたが、現場へ繋がる町道等の被災により事業期間の見直しが必要となったため、再評価を行うものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
						管内図 	
主な事業内容		山腹工 0.05ha					
主な保全対象		町道 100m					
総事業費		40,000千円					
位置図	縮尺 １：５０，０００						

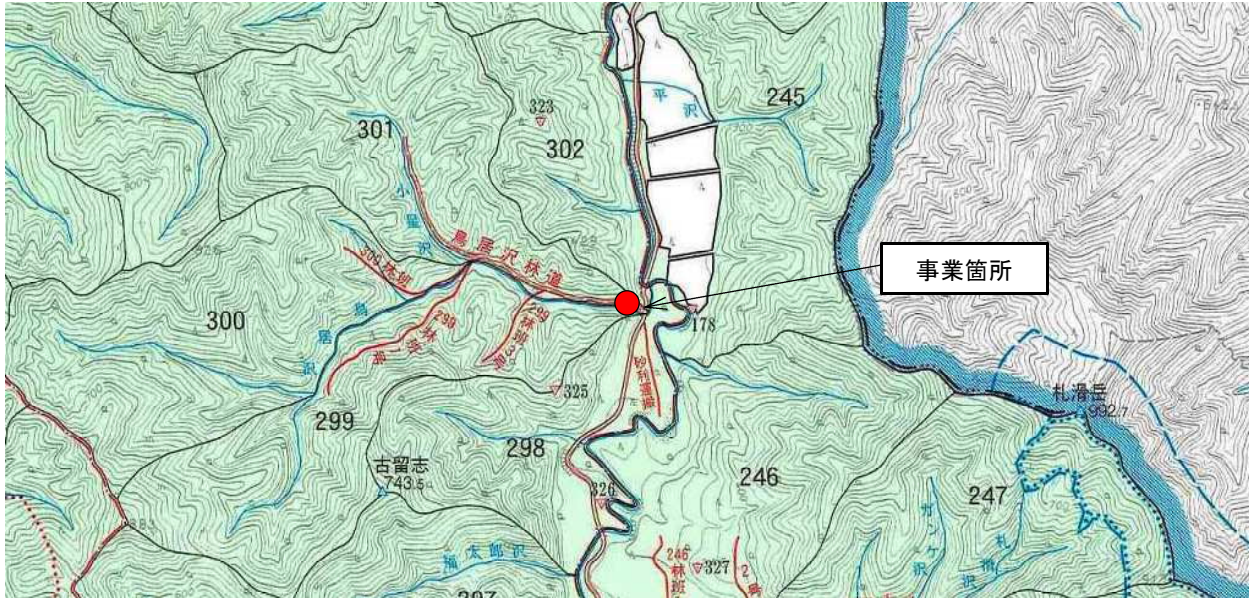
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和５年度（２年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	1192林班 （1192りんぱん） （北海道）
事業 目的	平成３０年７月に上川・留萌・空知管内を中心に猛烈な雨が降り、小平町、達布観測所（気象庁アメダス）で２４時間降水量が１１９mm（１時間最大雨量３０mm）を記録した。 この豪雨で１１９２林班の山腹斜面で崩壊が発生し、下流の農業用水路と水田に土砂が流入し被害を与えた箇所である。 翌令和元年度に緊急措置として鋼製土留工１基を施工したが、山腹斜面が急傾斜で、依然として土砂流出の不安があり、保全対象へ再び被害を与える恐れがあるため山腹工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 留萌南部森林管理署
						管内図 	
主な事業内容		山腹工 0.04ha					
主な保全対象		人家1戸、農地9.13ha					
総事業費		37,000千円					
位置図		縮尺 １：５０，０００					
							

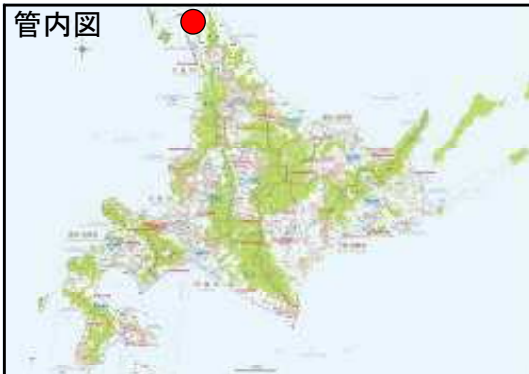
地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和５年度（２年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	オチヌウナイ沢 （おちぬうないさわ） （北海道）
事業目的	当該計画箇所は、中川町市街地より南西部に位置する一級河川天塩川の支流である。 当該溪流には、昭和５７年に施工されたコンクリート堰堤があり、施設点検を実施した結果、老朽化が激しく、治山事業個別施設計画対象施設としている。 今後大雨が降った場合、倒壊の恐れがあり、既設コンクリート堰堤上流側に堆積した、土砂等の流出により、下流域の町道に架かる橋梁や町道施設等、これら保全対象に被害を与える恐れがある。 このため、新たに下流側に溪間工を設置し、洗掘の解消と土砂流出の抑制を図るため溪間工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
主な事業内容		溪間工　２基					
主な保全対象		林道370m、橋梁					
総事業費		70,000千円					
位置図	縮尺　１：５０，０００						

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和4年度～令和5年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		名寄川支流鳥居沢 （なよろがわしりゅうとりいさわ） （北海道）	
事業目的		当該計画箇所は、名寄川水系エペウシュッペ沢川（鳥居沢）の下流域に位置する。 当箇所には、昭和31年度施工の玉石コンクリート堰堤があるが、老朽化が著しく倒壊の恐れがあり、インフラ長寿命化基本計画等に基づく治山個別施設計画対象施設である。 一方、当流域は、「天塩川魚類生息環境に関する専門家会議」により魚類の移動連続性、生息環境の保全におけるサクラマス遡上・降下対策が検討され、当該施設直下までサクラマスの産卵床が多く確認されている。 上流部を管理する当署もこの取組に参画していることから、現況の溪流に最適に機能出来るよう溪間工を1基新設し、倒壊のおそれがある治山ダムの保護及び土砂流出の抑止を図るとともに、魚道を設置することで魚類の移動連続を確保するため計画したものである。						事業実施主体		北海道森林管理局 上川北部森林管理署	
管内図											
主な事業内容		溪間工1基、魚道工1基									
主な保全対象		林道150m、橋梁									
総事業費		100,000千円									
位置図		縮尺 1：50,000									

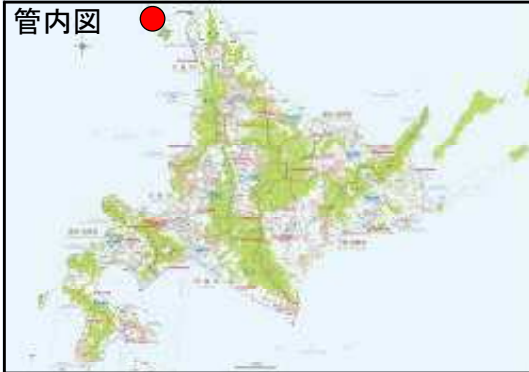
地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和4年度～令和5年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	港3丁目 （みなと3ちょうめ） （北海道）					
事業目的	当該箇所は稚内市の市街地に位置し、令和2年8月の豪雨（159.5mm/日）により土砂が流出し、山腹下部にある既設の土留工を越え、直下の人家まで流出した。 山腹斜面には依然として不安定土砂が堆積している状況であり、今後の降雨により、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出により下流の人家及び道道へ被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため山腹工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署					
主な事業内容						山腹工 0.06ha						
						主な保全対象				人家、道道		
						総事業費				60,000千円		
位置図	縮尺 1：50,000											

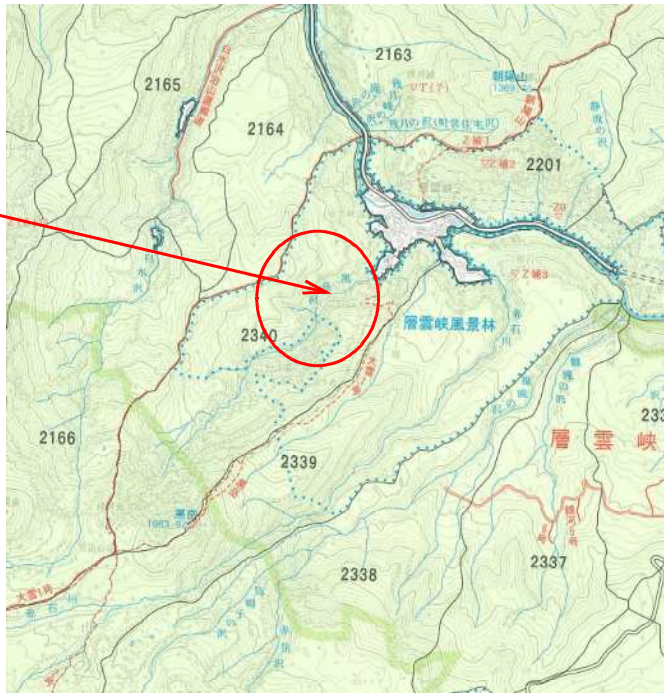
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和4年度～令和5年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		東浦 （ひがしうら） （北海道）	
事業目的		当該箇所は、稚内市東部に位置し、平成28年及び令和2年8月の豪雨（143mm/日）により土砂が流出し、既設の水路が閉塞、直下の漁業施設にまで流出した。 幸い漁港までは到達せず、被害は最小限で抑えられたが、溪床内には不安定土砂が堆積しており今後の融雪や降雨により大量の土砂が流出し、被害を及ぼす恐れがある。 当該事業により土砂流出を防ぎ、直下の保全対象への被害を防止するため溪間工を計画である。						事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		溪間工 3基									
主な保全対象		漁業施設、東浦漁港									
総事業費		80,000千円									
位置図		縮尺 1：50,000									

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和4年度～令和5年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		津軽川 （つがるがわ） （北海道）	
事業目的		当該箇所は礼文郡礼文町津軽地区に位置し、令和2年8月の豪雨（172.5mm/日）により既設の水路が閉塞し、直下の人家及び道道まで土砂及び流木が到達した。 人家や道道への被害は最小限で抑えられたが、沢の上流部にある鋼製カゴのダム2基については満砂状態及び流木が堆積している状況にあり、今後の豪雨により再び大量の土砂及び流木が流出し、被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により新規の溪間工を実施し、土砂及び流木の流出を防ぎ、直下の保全対象への被害を防止するため計画したものである。						事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
主な事業内容		溪間工 1基						管内図 			
主な保全対象		民家 20戸、道道 0.12km									
総事業費		70,000千円									
位置図		縮尺 1：50,000									

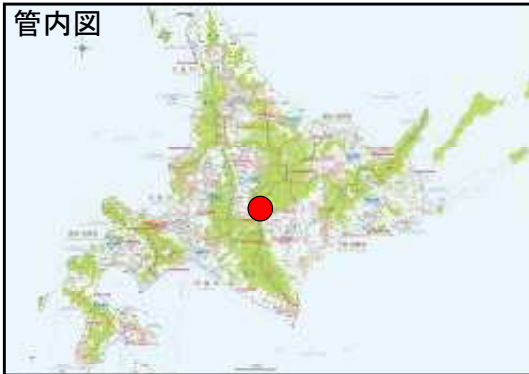
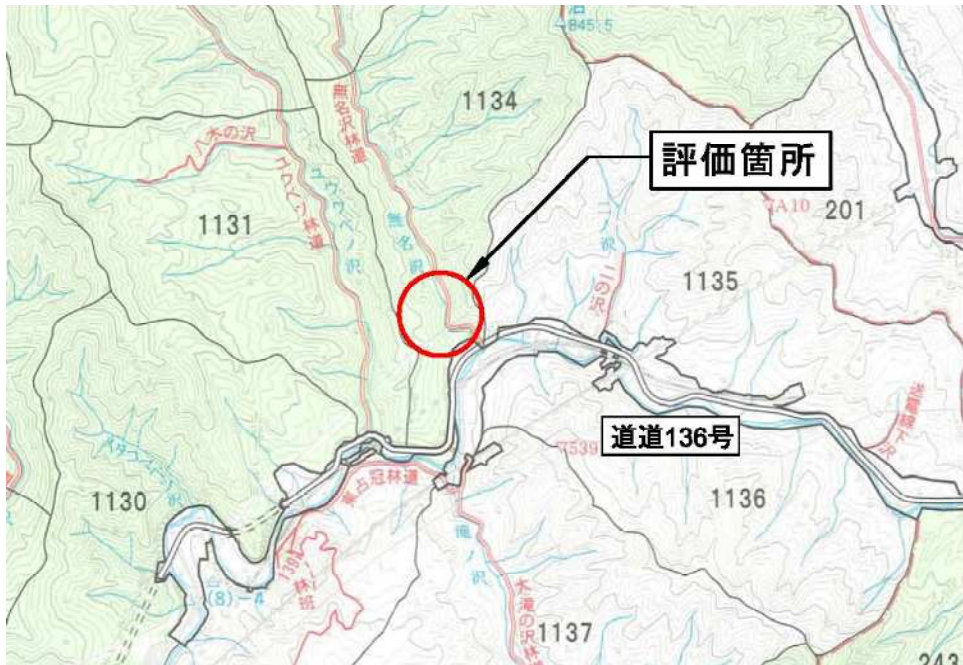
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和８度（５年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		黒岳沢 （くろだけさわ） （北海道）			
事業目的		当該箇所は、上川町より東へ約２０Kmに位置し、大雪山国立公園内にある。 直下には北海道内有数の温泉観光地層雲峡温泉及び道央圏と道東圏を繋ぐ重要な国道３９号線があり、昭和３０年頃より治山事業を実施している。 平成２８年８月の台風（７・９・１１号）通過に伴う豪雨では土石流が発生し、下流保全対象への被害はなかったものの、既設治山ダムは埋没している。 溪流内には未だ不安定土砂及び流木が堆積しており、今後の豪雨・融雪等により不安定土砂や流木が下流に流出した場合、直下の保全対象に被害を及ぼす恐れがある。 このため、当該事業により土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画するものである。						事業実施主体		北海道森林管理局 上川中部森林管理署			
主な事業内容		溪間工 ５基											
主な保全対象		国道39号 500m 人家6戸 事業所等 24棟											
総事業費		275,000千円											
位置図		縮尺 １：５０，０００		管内図 									
				計画箇所 									

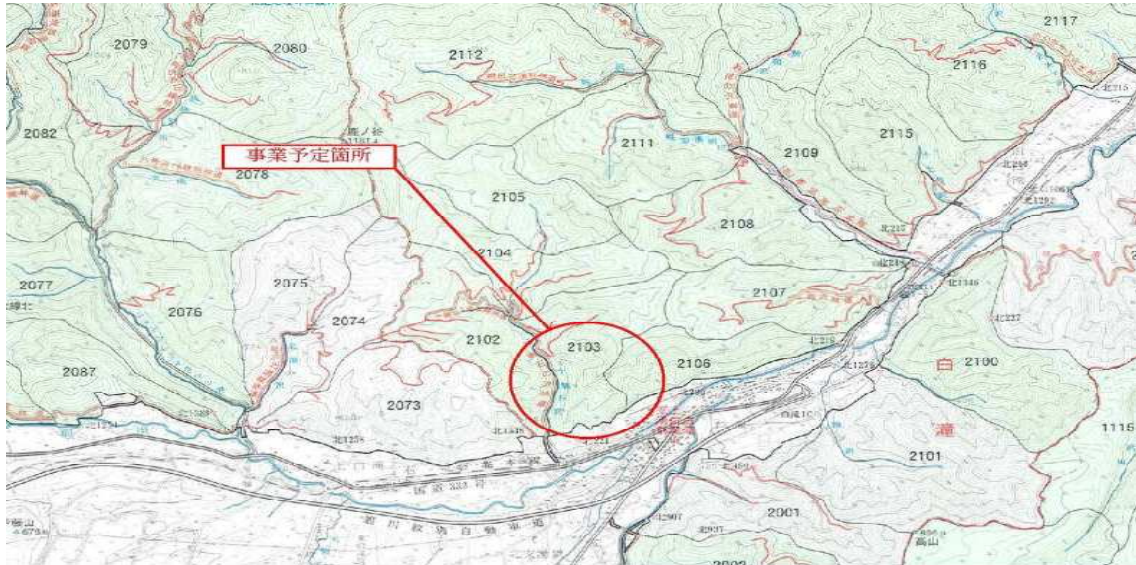
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和８度（５年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		三角点沢 （さんかくてんさわ） （北海道）			
事業目的		当該箇所は、上川町より三国峠へ約４０Kmに位置し、平成２８年８月の台風（７・９・１１号）通過に伴う豪雨により溪床、溪岸が浸食され周辺にあった立木が倒れている状況である。 直下には、道央圏と十勝圏を繋ぐ重要な国道２７３号線（三国峠）が通過しており、溪流内には依然として不安定土砂及び大量の流木が堆積しており、今後の豪雨・融雪等により不安定土砂や流木が下流に流出した場合、保全対象に被害を及ぼすおそれがある。 このため、当該事業により土砂流出及び流木を抑制し、下流の国道等の保全を図るために計画するものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 上川中部森林管理署	
主な事業内容		溪間工 ２基											
主な保全対象		国道200m 橋梁											
総事業費		150,000 千円											
位置図		縮尺 １：５０，０００		管内図 									
				計画箇所 									

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和６年度（３年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	無名沢 （むめいさわ） （北海道）
事業目的	当該箇所は、勇払郡占冠村北東部に位置し、昭和37年度施工のコンクリート床固工２基が経年劣化や流水の影響により、堤体の一部が摩耗損傷している。 このまま放置すると、今後豪雨等が発生した際に、床固工にさらなる損傷若しくは倒壊する恐れがあり、下流にある道道の横断工が土砂により閉塞されるなどの被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
						管内図 	
主な事業内容		溪間工 2基					
主な保全対象		道道 100m 林道80m					
総事業費		110,000千円					
位置図	縮尺 1：50,000						

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		27号沢 （27ごうさわ） （北海道）							
事業目的		当該箇所は、遠軽町白滝にある27号沢で、経年の降雨により溪岸侵食が発生し、不安定土砂等が堆積しており、令和２年度の降雨により直下の農地に流出し、農業用排水施設を閉塞させた。 下流域には農地以外に国道、農業関連施設、鉄道等があり、このまま放置した場合、更なる不安定土砂等の流出により、大きな被害を与える恐れがある。 このため、当該事業により土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 網走西部森林管理署					
										管内図							
主な事業内容		溪間工 2基															
主な保全対象		農地、町道150m、人家															
総事業費		85,000千円															
位置図		縮尺 1：50,000															

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和８年度（５年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		野宿の沢 （のじゅくのさわ） （北海道）			
事業目的		当該箇所は、幌加湧別下流地区の野宿の沢であり、経年の降雨による山腹崩壊及び溪岸侵食に伴い、不安定土砂と流木の堆積が見られる。 直下には併用林道及び民有地があり、併用林道は白滝ジオパークまでの通行手段として活用されており、地元観光資源として重要な路線である。 このまま放置した場合、不安定土砂や流木等の流出により、下流域の林道・民有地・国道等に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により土砂流出防止及び流木の流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 網走西部森林管理署	
										管内図 			
主な事業内容		流木捕捉谷止工１基、溪間工４基											
主な保全対象		林道（併用）0.8km、高規格道路200m、人家											
総事業費		215,000千円											
位置図		縮尺 １：５０，０００											

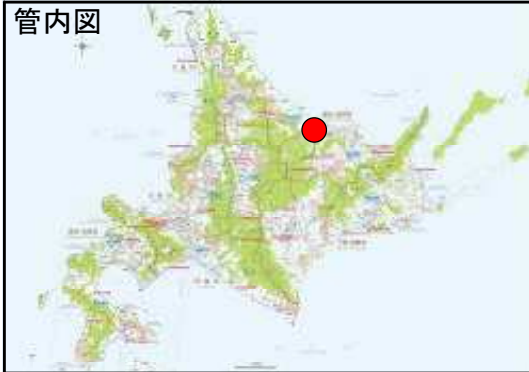
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		１０６７林班 （１０６７りんぱん） （北海道）	
事業目的		当該箇所は、紋別市の中立牛地区にある溪流で、直下には紋別市と遠軽町を結ぶ道道、牧場が存在しており、平成１０年９月の豪雨では牧場敷地内に土砂、流木が流出する被害を与えた地区である。現在も溪床には山腹崩壊、溪岸侵食に伴う不安定土砂等があり、このまま放置した場合、今後の豪雨により流木及び不安定土砂等が流出し、下流にある道道、牧場に被害を与える恐れがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。									
主な事業内容		溪間工 ２基									
主な保全対象		道道 150m、採草地									
総事業費		70,000千円									
位置図		縮尺 １：５０，０００									

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和８年度（５年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		ウツツニ基線沢 （うつつにきせんさわ） （北海道）	
事業目的		当該箇所は、紋別市宇津々地区にある溪流で、昭和３２年度施工のコンクリート護岸工が、老朽化のため一部が倒壊しており、残る部分についても傾き・ひび割れが顕著で倒壊の恐れがある。 護岸工上部の山腹には崩壊地があり、今後の豪雨により護岸工が倒壊すれば崩壊地が拡大し、大量の土砂・流木の流出により民有林、併用林道に被害をもたらすとともに、下流の取水施設への被害も懸念される。 このため、当該事業により護岸工の更新と山腹の緑化を実施し、崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し下流域の保全を図るため計画したものである。									
主な事業内容		護岸工50m、山腹工0.10ha									
主な保全対象		市道（併用林道）200m、取水施設									
総事業費		50,000千円									
位置図		縮尺 １：５０，０００									

地 区 概 要 表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		仁頃地区 （にころちく） （北海道）			
事業目的		当計画地区は、仁頃峠から佐呂間山と連なる稜線に位置し、本支流域は常呂川の仁頃川流域と佐呂間別川基幹流域と接した流域であり、下流域には国道３３号及び道道など生活・産業・観光にとって重要な幹線道路に加え、農家が点在し集落も形成し広大な農耕地がある。 当箇所は令和2年度の全体調査の結果、溪岸侵食などによる不安定土砂の堆積や流木の滞留が見られた。 当該事業により溪床を安定させ、流木や土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 網走中部森林管理署	
管内図 													
主な事業内容		溪間工 2基											
主な保全対象		林道、農地											
総事業費		90,000千円											
位置図		縮尺 1：50,000											

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和2年～令和6年度（5年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		白滝の沢 （しらかきのさわ） （北海道）			
事業目的		当計画地区は、平成28年8月の台風の上陸に伴う豪雨により大量の土砂及び流木が下流の道道へと流出し被害を受けた箇所である。 上流域では既設のダムが数基設置されているがすべてが満砂している状況であり、依然として不安定土砂等が堆積している状況にあり、今後の豪雨等による土砂等の流出により、下流の道道に被害を与えるおそれがあることから、溪間工等により土砂を抑制し、下流域の保全と地域住民の生活に対する安全・安心を確保する。 なお、実行に伴い詳細調査を行った結果、事業費及び事業期間に変更が生じた事によりB/Cの確認が必要となったため、令和元年度に行った評価について再評価を行う。								事業実施主体		北海道森林管理局 網走中部森林管理署	
		管内図 											
		主な事業内容		溪間工2基									
		主な保全対象		道道200m、公共施設、おけと湖									
総事業費		132,000千円											
位置図		縮尺 1：50,000											

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		屈斜路 （くっしゃろ） （北海道）	
事業目的		当該箇所は、弟子屈町屈斜路地区に位置し、平成２８年８月の台風通過に伴い大きく被害を受けた箇所である。 阿寒摩周国立公園第２種特別地域であり、観光名所の津別峠展望台直下で、屈斜路湖へ流入する溪床である。 溪床内は平成２８年時に被災した崩壊土砂が大量に堆積し、このまま放置した場合不安定土砂等の流出により下流にある農地、人家、国道等に被害を及ぼすことが考えられ、また観光など町の振興にも影響を与えるおそれがある。 このため、当該事業により土砂流出を抑制し、下流域の保全、早期の復旧を図るため溪間工を計画したものである。									
		主な事業内容		溪間工 ３基							
		主な保全対象		農地 農魚家 国道 50m							
		総事業費		130,000千円							
位置図		縮尺 １：５０，０００									

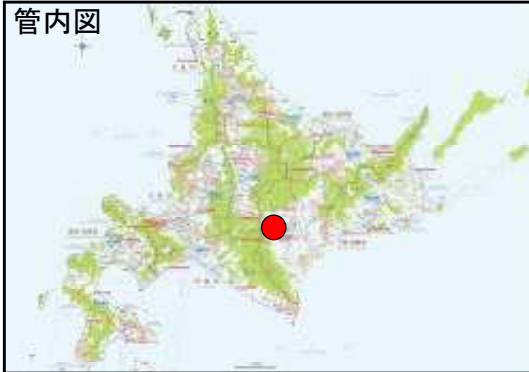
地 区 概 要 表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和4年度～令和7年度（4年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	オネトップ （おねとつぷ） （北海道）		
事業目的	当該地区は本別町市街地より西部に位置しており、平成28年8月の台風上陸に伴う豪雨により山腹崩壊が発生し大量の土砂及び流木が下流へと流出し被害を受けた箇所である。 上流域では既設のダムが数基設置されているがすべてが満砂している状況であり、依然として不安定土砂等が堆積している。 今後の豪雨等による土砂等の流出により、下流の町道等に被害を与えるおそれがあることから、土砂を抑制し、下流域の保全と地域住民の生活に対する安全・安心を確保するために溪間工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署		
主な事業内容		溪間工 3基						管内図 	
主な保全対象		町道、林道、農地、取水浄水施設							
総事業費		160,000千円							
位置図	縮尺 1：50,000								

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和４年度～令和５年度（２年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	ペンケナイーの沢川 （ペンケナイイチノサワカワ） 北海道
事業目的	当該地は広尾郡大樹町西部に位置し、分収林、林道及び道道を横断して歴舟川に至る溪流である。 本溪流では平成28年台風災害により土砂・流木が流出し、下流を横断する林道の横断管が閉塞し路体決壊させた経緯がある。 溪床内には不安定土砂や倒木が散在しており、今後の降雨によって土砂・流木の再生産・再移動によって林道や下流の道道幸徳大樹線へ被害を与えるおそれがあることから大樹町からも歴舟川流域における流木対策を要望されているところである。 このため、溪間工により溪岸侵食・土砂移動の防止を図り、分収林の適切な施業と林道・道道や下流域の漁業の保全に資するために溪間工を計画したものである。				事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
					管内図 	
主な事業内容		溪間工 １基				
主な保全対象		林道60m、道道30m				
総事業費		66,000千円				
位置図	縮尺 １：５０，０００					
						

地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和７年度（４年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	ペンケオタソイ川 （べんけおたそいがわ） （北海道）	
事業目的	当該箇所は、上川郡新得町南部に位置し、平成28年度の台風による大雨等により多量の土砂が流出し林道が損壊する被害を与えた。 溪床内には依然として不安定土砂等が大量に堆積しており、下流には道央圏と道東圏とを結ぶ高速道路（道東道）が存在する。 このまま放置した場合、山腹崩壊等の拡大及び不安定土砂等の流出により、下流にある高速道路等に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署 東大雪支署	
主な事業内容		溪間工 3基						
主な保全対象		林道200m 高速道路 80m						
総事業費		250,000千円						
位置図	縮尺 1：50,000							



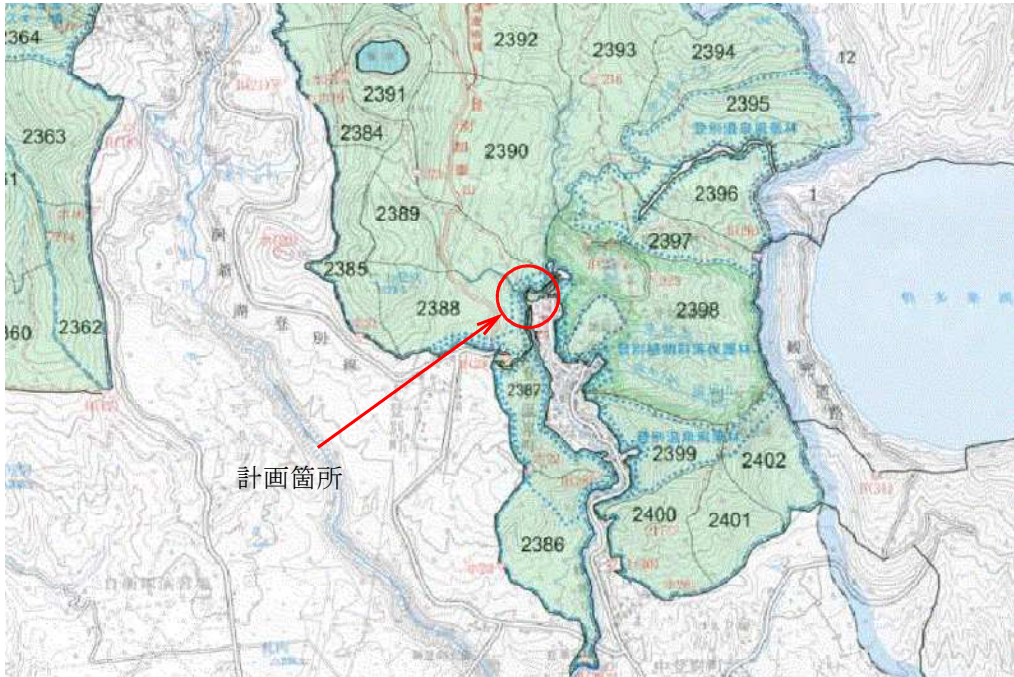
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和4年度～令和5年度（2年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		南の沢川 （みなみのさわがわ） （北海道）			
事業目的		当該箇所は、上川郡新得町南部に位置し、平成28年度の台風による大雨等により多量の土砂が流出し林道を損壊する被害を与えた。 溪床内には依然として不安定土砂等が大量に堆積しており、下流には道央圏と道東圏とを結ぶ高速道路（道東道）が存在する。 このまま放置した場合、山腹崩壊等の拡大及び不安定土砂等の流出により、下流にある高速道路等に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大及び土砂流出を抑制し、下流域の保全を図るため溪間工を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 十勝西部森林管理署 東大雪支署	
主な事業内容		溪間工 2基											
主な保全対象		林道 50m 高速道路 80m											
総事業費		80,000千円											
位置図		縮尺 1：50,000											

地区概要表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成31年度～令和5年度（5年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	神恵内 （かもえない） （北海道）
事業目的	当該箇所は、神恵内村市街地の国道229号線沿いに位置する山腹斜面で、既設落石防止柵（S55）等の施設が設置されているが、塩害等による腐朽が著しく進行している。 斜面には、風化した基岩から剥離した転石や浮き石等が点在していることから、今後の降雨等により落石が発生し、直下の民家・役場・消防署・駐在所・国道へ被害を及ぼすおそれがある。 このため、当該事業により、落石などの被害を防止することにより、直下の民家等を保全し、地域住民の安全・安心を図るため計画したものである。 なお、事業実行に伴い詳細調査等を行った結果、事業期間及び総事業費に変更が生じたことによりB/Cの確認が必要となったため、平成30年度に行った評価について再評価を行う。				事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
						
主な事業内容	山腹工 0.47ha					
主な保全対象	人家、国道600m、役場、消防署、駐在所					
総事業費	215,000千円					
位置図	縮尺 1：50000					

地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）	事業計画期間	令和4年度（1年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	登別 （のぼりべつ） （北海道）
事業目的		当該箇所は、登別温泉地区の上流にある山腹斜面で平成9～12年度施工の落石防止網工・雪崩予防柵が設置されているが、経年劣化及び破損が進み、その機能低下が懸念される。 今後の豪雨等により落石や拡大崩壊の危険性が高まっており、直下の市道に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により落石及び拡大崩壊の防止を図り、直下の市道及び民生安定を図るため、山腹工を計画したものである。			事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
主な事業内容		山腹工 0.10ha				
主な保全対象		市道 200m				
総事業費		32,000千円				
位置図		縮尺 1：50,000				

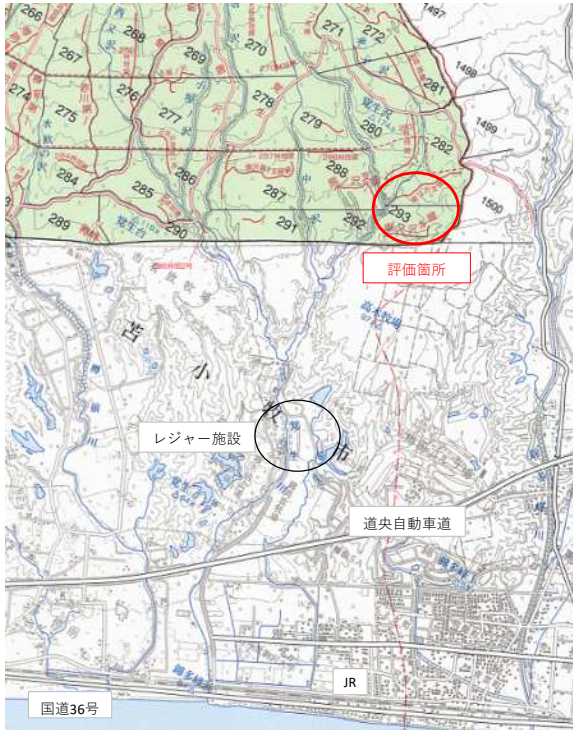
地区概要表

事業名		復旧治山（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		鍋釣岩向え （なべつるいわむかえ） （北海道）	
事業目的		当該地区は、奥尻島のシンボルである鍋釣岩の向えに位置し、急傾斜の山腹斜面が連続しており、直下に保全対象である道道や鍋釣岩に関する観光施設が存在する地区である。 長年にわたり海からの強風や近年頻発する豪雨等により、道道等の背後に当たる山腹斜面は立木の傾倒や表層の剥離崩壊が進行しており、今後の降雨等によって表土を伴い下流に崩落する危険があること、また、当該地区の0.21haについては、平成25年度の治山個別施設計画長寿命化対策の中で、昭和45年度に施工した落石防護網工の腐食が著しく、張り替えが必要との調査結果が出ている。それらのことから、山腹工を施工し、山地災害の防止を図るものである。									
主な事業内容		山腹工 0.50ha									
主な保全対象		人家2戸 道道 300m 観光施設									
総事業費		107,000千円									
位置図		縮尺 1：50,000									

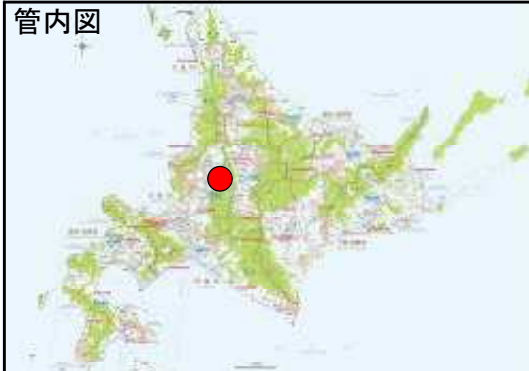
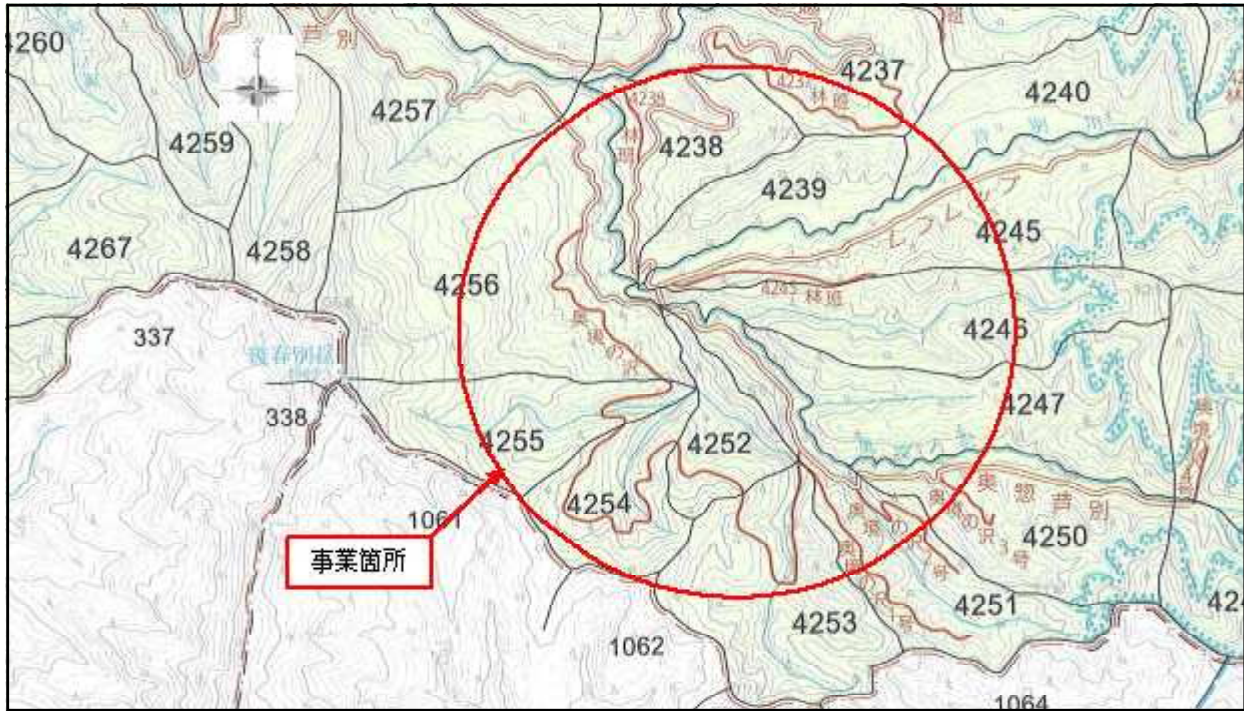
地 区 概 要 表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	平田内地区 （ひらたないちく） （北海道）
事業目的	当該箇所は、二海郡八雲町熊石の平地区にある山腹で、令和2年度の豪雨に伴う山腹崩壊が発生した箇所である。現在も、山腹には大量の浮石があり、いつ落下するかわからない状態にある。 このまま放置した場合、山腹崩壊の拡大及び不安定土砂の流出により、下流の保全対象である取水施設・温泉・町道に被害を与えるおそれがある。 このため、当該事業により崩壊地の拡大防止及び不安定土砂の流出を抑制し、下流域の保全を図るため山腹工を計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 渡島森林管理署
						管内図 	
主な事業内容	山腹工 1.17ha						
主な保全対象	町道 温泉施設						
総事業費	98,000千円						
位置図	縮尺	1：50,000					

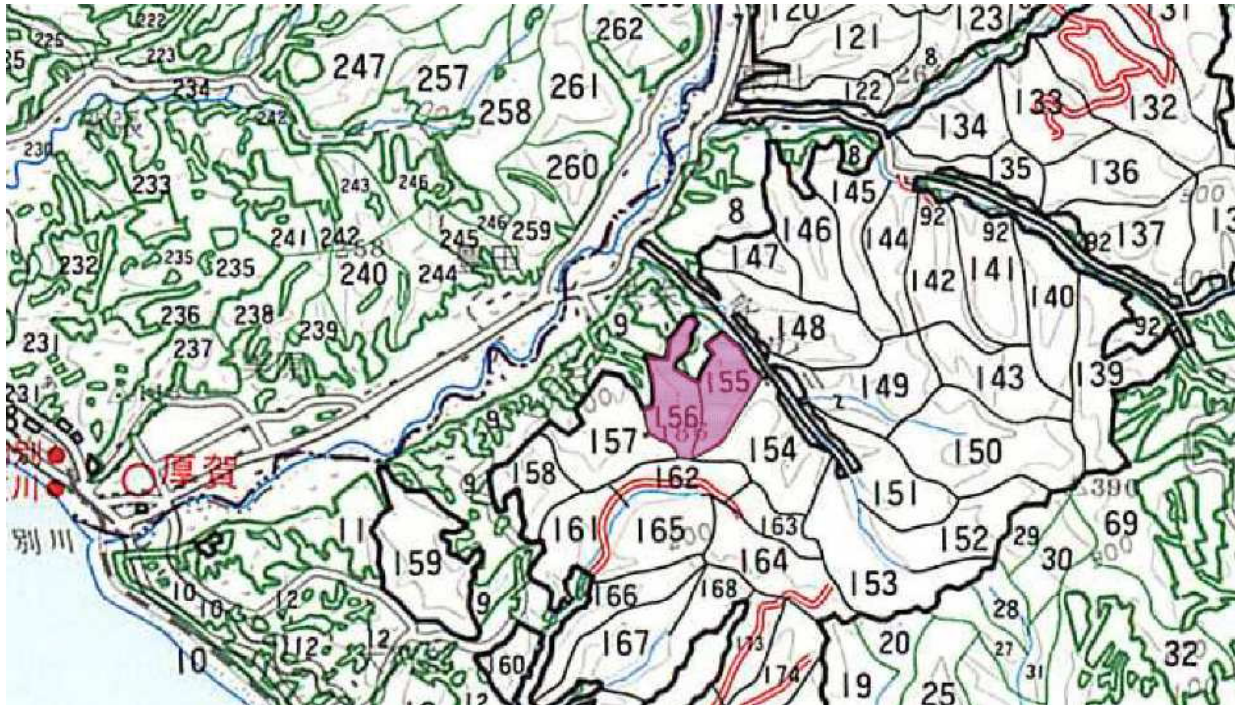
地区概要表

事業名		地域防災対策（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和13年度（10年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		樽前山 （たるまえさん） （北海道）			
事業目的		当該地区は樽前山麓の南東に位置する覚生川流域であり、下流域には国道36号線、道央自動車道、JR室蘭線などの交通機関に加え、苫小牧市の住宅街や事業所、レジャー施設がある。 樽前山の火山活動は、現在の溶岩ドームを形成した1909年の中規模噴火後も周期的に小規模の噴火を繰り返している。 近年の地震活動及び噴煙活動は静穏な状態であるものの、いつ活動期になってもおかしくなく、予断を許さない状況である。 平成25年度に樹立した全体計画に基づき、令和2年度に施設の配置を再度検討し、下流の保全と保安林機能の維持・向上のため、新設施設の整備を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 胆振東部森林管理署	
主な事業内容		導流堤 1基											
主な保全対象		人家、レジャー施設、国道、鉄道											
総事業費		809,000千円											
位置図		縮尺 1：50,000											

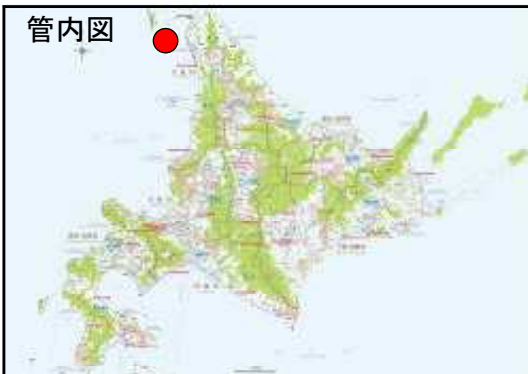
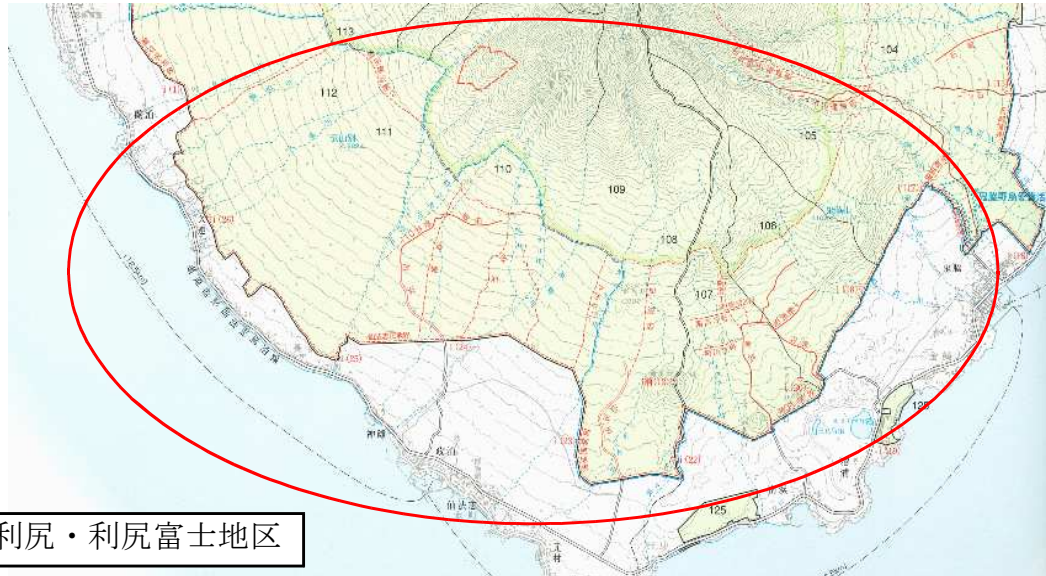
地区概要表

事業名	保安林整備（国有林）		事業計画期間	令和４年度（１年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	芦別 （あしべつ） （北海道）	
事業目的	当計画地は、空知川の支流域に位置する人工林である。 林内は侵入木を含めうっ閉していること及び植栽木に蔓が絡まり、植栽木の生育が著しく阻害されている状態である。 今後、この計画地がさらにうっ閉状態となり、林床植生の生育を妨げると、降雨時に表土流出の恐れがあるため、早期に林内、林床へ適度の陽光を取り入れ林床植生の促進を図るため、森林整備による保安林機能強化を図るものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署	
						管内図 		
主な事業内容	つる切・除伐 67.80ha							
主な保全対象								
総事業費	14,000千円							
位置図	縮尺 １：５０，０００							

地 区 概 要 表

事業名		保安林整備（国有林）		事業計画期間		令和4年度（1年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		日高南部 （ひだかなんぶ） （北海道）	
事業目的		当該計画地は、新冠郡新冠町の厚別川流域に位置する人工林である。 当該箇所では、進入木や蔓茎類により造林木が被圧された林分ならびに造林木等の過密化による成長不良と下層植生の消滅等、その生育が著しく阻害された状況にあって、現状を放置することは造林木の枯死や表土の流出等保安林機能の低下につながる恐れがあることから、保安林機能の適切な維持管理を目的として保安林整備事業を計画するものである。						事業実施主体		北海道森林管理局 日高南部森林管理署	
主な事業内容		本数調整伐 25.24ha									
主な保全対象											
総事業費		4,000千円									
位置図		縮尺1：200,000									

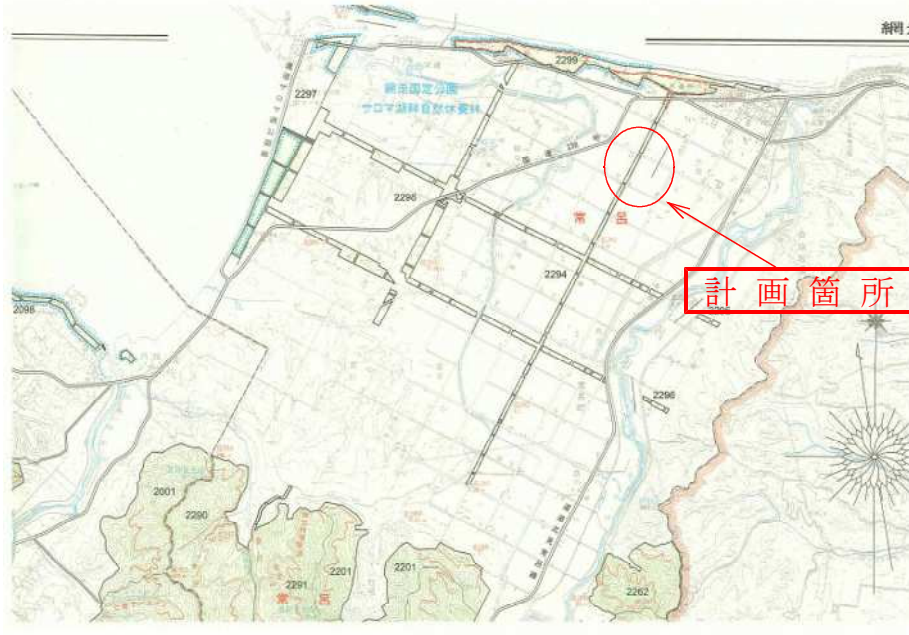
地区概要表

事業名		保安林整備（国有林）		事業計画期間		令和４年度～令和６年度（３年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		利尻・利尻富士地区 （りしり・りしりふじちく） （北海道）	
事業目的		当計画地は稚内市から南西に約４０km、利尻島に位置する人工林である。 対象地の林況は植栽木がうっ閉しており、林内が照度不足のため下層植生の減少により保安林機能の低下を招く恐れがある。 また、対象地は最北沿岸地域ということで、海側から強風の影響も受けている。 そのため保安林機能の強化を図る観点から、本数調整伐及び事業実行のため使用する作業道の補修作業を計画した。						事業実施主体		北海道森林管理局 宗谷森林管理署	
								管内図 			
主な事業内容		本数調整伐 １２２．６０ha 作業道補修									
主な保全対象											
総事業費		36,000千万円									
位置図		縮尺 １：５０，０００		 利尻・利尻富士地区							
											

地 区 概 要 表

事業名	保安林整備（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和９年度（６年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	常呂地区その１ （ところちくその１） （北海道）			
事業目的	当計画地は、北見市常呂町から北に位置するサロマ湖に隣接しており、オホーツク海から吹く強風等による気象条件が厳しく荒廃森林が多い。 今後、侵食が進むと土砂流出により漁業被害を及ぼす恐れがあることから保安林の機能強化を図るための、植栽等による森林整備を実施することが必要な箇所である。 また、ワッカ原生花園も隣接していることから自然環境の維持・保全等に対し公益的機能を高度に発揮させることが重要であり、早急な森林整備を目的として計画したものである。						事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署		
							管内図			
							主な事業内容		防風垣 2500m 下刈1.35ha	
							主な保全対象			
総事業費		90,000千円								
位置図	縮尺 1：50,000									

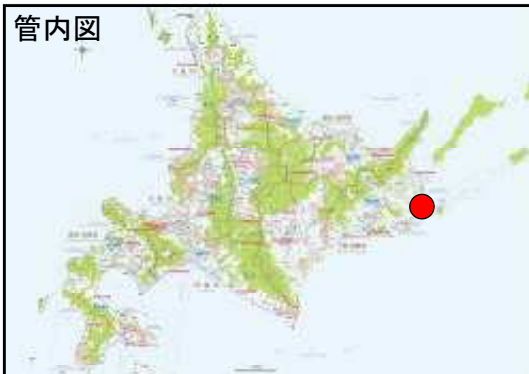
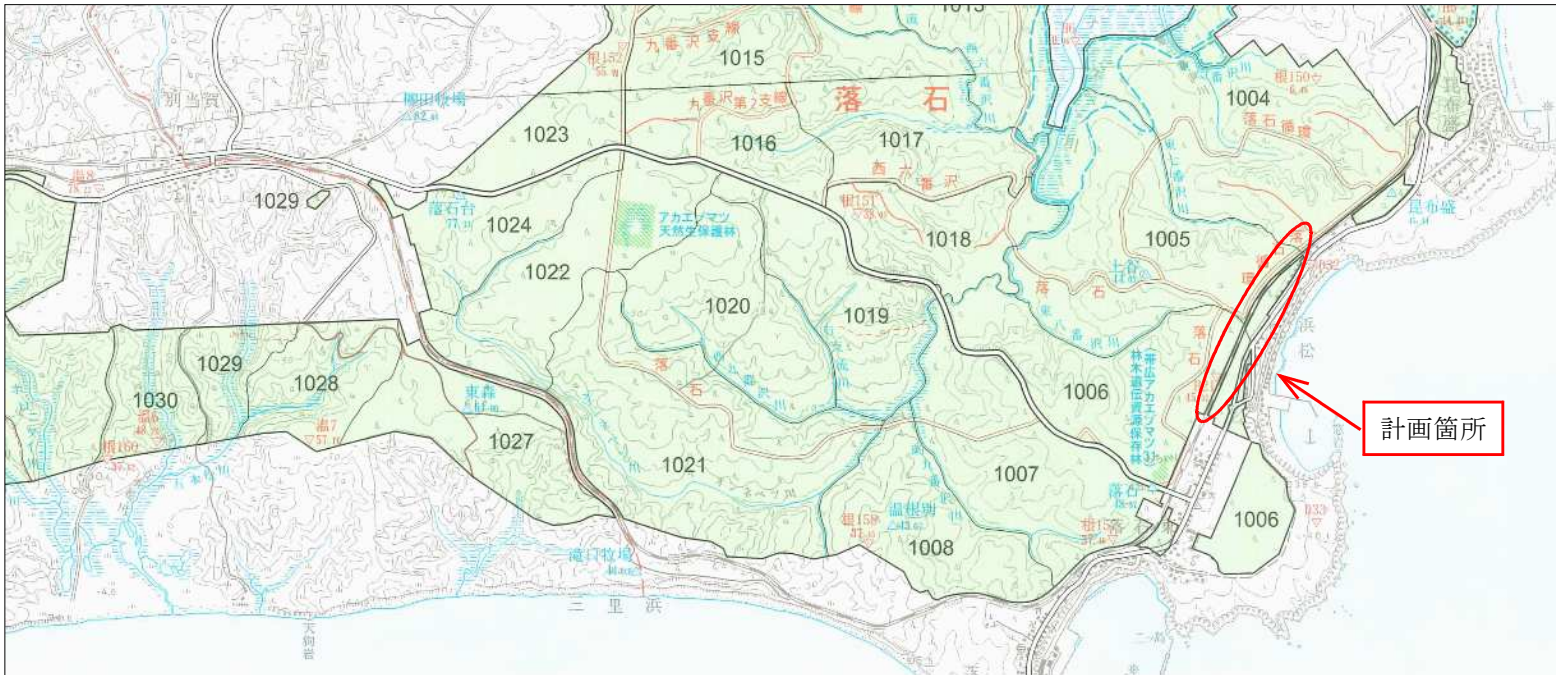
地区概要表

事業名	保安林整備（国有林）		事業計画期間	令和4年度～令和13年度（10年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	常呂地区その2 （ところちくその2） （北海道）	
事業目的	当計画箇所は、北見市常呂町に所在し、オホーツク海から吹く強風による気象条件が著しく厳しい地区である。 当計画地は、植栽木や侵入木等の過密化でうっ閉し、植栽木の成長不良や林床植生消滅等の状態である。 このまま放置した場合、植栽木の枯死や表土流出の恐れがある。 森林整備を行い、植栽木、林床植生の成長を促進し、表土の流出防止及び防風保安林機能を向上させ、隣接する農地の保全を図るため計画したものである。						事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
							管内図	
主な事業内容		本数調整伐 30.00ha 下刈 4.58ha						
主な保全対象								
総事業費		28,700千円						
位置図	縮尺 1：50,000							

地 区 概 要 表

事業名		保安林整備（国有林）		事業計画期間		令和4年度～令和11年度（8年間）		事業実施地区名 （都道府県名）		北見 （きたみ） （北海道）			
事業目的		当計画地は、北海道北見市街から北西に位置する独立峰の仁頃山に所在しており、寒風雪等による気象条件が厳しく荒廃森林が多いことから、保安林の機能強化を図るため植栽等の森林整備を実施することが必要な箇所である。 下流には農地が広がっており、水資源の安定供給及び自然環境の維持・保全等、公益的機能を高度に発揮させることが重要であることから、早急な森林整備を計画したものである。								事業実施主体		北海道森林管理局 網走中部森林管理署	
										管内図			
主な事業内容		下刈1.10ha 補植0.32ha											
主な保全対象													
総事業費		14,900千円											
位置図		縮尺 1：50,000											

地区概要表

事業名		保安林整備（国有林）		事業計画期間	令和４年度～令和10年度（7年間）	事業実施地区名 （都道府県名）	落石地区 （おちいしちく） （北海道）
事業 目的	当該箇所は、根室市西部に位置し、ＪＲ根室本線や道道142号線等が隣接している。 当地区は海側からの強風により風倒木が発生している状況である。 今後、防霧保安林として機能を回復させるには、防風垣の設置、排水工を施工して地下水位の低下を図り、植栽工、保育作業を行う必要があることから計画したものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
						管内図 	
主な事業内容		防風垣 1,000m、地拵 7.50ha、植栽工 7.50ha、下刈 7.50ha					
主な保全対象							
総事業費		52,000千円					
位置図	縮尺 1：50,000						

地区概要表

事業名	保安林整備（国有林）		事業計画期間	令和４年度（１年間）		事業実施地区名 （都道府県名）	室蘭 （むろらん） （北海道）
事業目的	当該箇所は伊達市・壮瞥町に跨る有珠山山腹に位置し、現況林分は林分密度が高くなっているため林内照度が低下し、下層植生の生育を阻んでいる状態であり水源かん養機能の低下が懸念される状況にある。 現状のまま放置すれば、表土の流出等により周辺地域に被害を与える恐れがある。 このため、植栽木の健全な生育及び天然下種等の効果促進を図るため、本数調整伐を実施して保安林機能を発揮させるものである。					事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
						管内図 	
主な事業内容	本数調整伐 17.50ha						
主な保全対象							
総事業費	4,500千円						
位置図	縮尺 1：50,000						